

## 11月の無料相談

種類	開設日	時間	会場・問い合わせ先	内容
弁護士法律相談 (要予約)	4日(水) 18日(水)	10:00 ~ 12:00	●新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため 当面の間、電話での相談となります。 ☎市消費生活センター☎②1133 (平日/午前9時~午後5時)	多重債務、離婚・相続 問題などのトラブル、 被災者の抱える二重ロ ーン問題の相談など
	11日(水) 25日(水)	13:00 ~ 16:00		
市民あつたか 相談所	月~金 曜日	8:30 ~ 17:15	●本庁舎生活防災課 ☎本庁舎生活防災課内専用電話☎②1717	市行政等に関する相談
心の健康相談 (要予約)	13日(金)	13:30 ~ 15:00	●県南保健福祉事務所(郭内) ☎県南保健福祉事務所☎②5649	うつ状態、ひきこもり などに関すること
交通事故相談	月~金 曜日	9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 16:00	☎県庁県政相談コーナー☎024-521-4281	損害賠償請求や示談の 仕方など
心配ごと相談	10日(火) 24日(火)	10:00 ~ 12:00	●中央老人福祉センター(北中川原) ☎市社会福祉協議会☎④4222	生計、家族に関するこ となど
認知症の人と 家族の会	22日(日)	13:30 ~ 15:30	●中央老人福祉センター(北中川原) ☎同県南地区事務局☎⑤2394	認知症本人と家族の相 談や話し合いなど
ハートコール (いじめ等相談電話)	月~金 曜日	8:30 ~ 17:15	☎ハートコール相談専用電話 ☎0800-800-1893(フリーダイヤル)	児童・生徒のいじめ等 に関する相談

## 11月の休日救急医療当番医

診療日	診療科目	医療機関名	電話番号
1日(日)	小児科	白河厚生総合病院	②2211
	内科・外科	白河市表郷クリニック	③2316
	歯科	佐藤歯科医院	③1184
3日(祝)	小児科	すずき内科クリニック	④4114
	内科・外科	田口医院	④1111
8日(日)	歯科	鈴木歯科医院	②6191
	小児科	みうら小児クリニック	⑧1001
	内科・外科	ありがクリニック	⑩1311
15日(日)	歯科	鈴木歯科医院(表郷)	③2029
	小児科	わたなべ子どもクリニック	⑩2166
	内科・外科	いがらし内科クリニック	⑩9111
22日(日)	歯科	すずき歯科	④5555
	小児科	ねもとキッズクリニック	⑩5623
	内科・外科	大高整形外科	③9988
23日(祝)	歯科	須藤歯科医院	②6460
	小児科	樋口小児クリニック	④2040
	内科・外科	大高内科胃腸科	④1456
29日(日)	歯科	秋山歯科医院	④3741
	小児科	みうら小児クリニック	⑧1001
	内科・外科	片倉内科胃腸科クリニック	⑦2770
	歯科	ひまわり歯科医院	③5991

お子さんが深夜に急病…。病院へ行くべきか迷ったら、  
『こども救急電話相談』を利用しましょう！  
☎#8000または024-521-3790(午後7時~翌朝8時)



## 11月の献血

対象	実施日	時間	会場	所在地
市民	3日(祝)	11:30 ~ 16:00	メガステージ 白河	新高山
	30日(月)	10:30 ~ 17:30	《冬期街頭献血キャンペーン》 市立図書館 りづらん 道場小路	

※街頭献血キャンペーンの会場が変わりますのでご注意ください。  
※会場での体温測定・手指消毒・マスク着用にご協力をお願いします。



善意の窓 あたたかい善意をありがとうございました。

〈愛の基金〉 (8月受付分)

- ♥10万円 長谷川 恵美子 様 (小田川)
- ♥5万円 金沢 鶴一 様 (大信町屋)
- ♥5万円 吉田 強子 様 (寺小路)
- ♥5千円 金勝寺ボランティア 佐藤 力 様

〈白河を守ろうコロナ対策支援寄附金〉

- ♥207,200円 明治安田生命保険相互会社  
郡山支社 様

〈新型コロナウイルス感染症防止関係〉

- ♥絵本 30冊 大谷 美鶴 様 (田島)

〈市内保育園・幼稚園へ〉

- ♥絵本 10冊 星空ピアガーデン実行委員会  
代表 大野 祐太郎 様

## 「次郎長と明治維新」



清水といえは次郎長。海道一の親分を知らぬ者はいない。廻船業者の二男に生まれる。養父は米穀商。裕福に育ったが商売そっちのけ。喧嘩と博奕の日々。旅の僧に「惜しいかな、あなたのお命はもつて25歳まで」とのご宣託。ならば算盤、帳簿に何の意味があるか！太く短く生きよう。無宿者になり清水を後にする。

旅から旅への三度笠。道中で、大政・小政・石松らと盃を交わす。徐々に精強な戦闘集団ができる。次郎長は義理・人情に厚く、船頭の気質も持つ。一家は船荒波を乗り切るには、組員の固い結束と一体感が欠かせない。整然とした統率と横の連携。次郎長の風を読み、潮目を読む天性の勘。清水一家は状況に応じ、自在に隊形を組み勝ち抜いてきた。

商品経済の発展に物流は欠かせない。港、河岸、宿に人・物・金が集まる。賭場ができる。喧嘩になる。利害の調整が必要になる。博徒は裏社会の警察、調停役になる。三河は伊那街道で信州に、清水は富士川で甲州に通じている。前には江戸大阪への海が開けている。次郎長は博徒に必要な武力と財力を備えていた。

次郎長を有名にしたのは講談師や浪曲師。これには『東海遊侠伝』という種本があった。著者は一時養子になった天田五郎。五郎は磐城平藩の出身。戊辰の負け戦の中、行方不明になった両親と妹探しの旅に出る。ある縁で山岡鉄舟に会う。鉄舟は無鉄砲な若者を、人探しの裏情報に詳しい次郎長に預ける。

鉄舟は勝海舟・高橋泥舟とともに幕末の三舟といわれる英傑。剣・禅・書の達人。時流に流されない至誠の人。海舟の使者として、単身駿府の西郷隆盛に会う。徳川慶喜の助命、江戸城攻撃の中止などを大枠で妥結。海舟・西郷の会談は有名だが、その功績は鉄舟にあった。

19世紀。幕藩体制はゆらぎ、身分制も崩れ、藩や天領の警察力も低下する。一定の武器と集団を持つ博徒が支配者に敵対する事件が頻発。国定忠治は、天保飢饉の窮民を救い、沼を浚渫する。凶状持ちの忠治は磔になるが「強きを挫き弱きを扶く」侠客として名を残す。

ペリーの来航。井伊大老の暗殺。佐幕か勤皇か。熱病のような思想と狂騒の時代を迎える。時のうねりは任侠集団をも巻きこむ。刃の下をくぐってきた博徒は即戦力。尾張の博徒は隊を結成し官軍につく。宿敵、甲州の黒駒勝蔵もいち早く身を投ずる。次郎長は動かない。大波に流されることの危うさを感じとっていた。

徳川家は70万石で駿河に移封。次郎長は清水に移る旗本の世話をする。炊き出し・宿泊・市中警固。任侠の徒が生活と治安を守った。慶応4年8月。栄光の咸臨丸が傷つき入港。幕臣榎本艦隊が北上する途中、台風に遭い流された。

一月後、官の軍艦が砲撃。海上に死体が浮かぶ。だが賊軍の屍を葬ることはできない。存続を許された藩は手を出せない。そこに次郎長が登場。「死ねば仏。仏に官も賊もあるものか！」遺体を収容し埋葬した。鉄舟はいたく感激し、「壮士の墓」と揮毫。二人は深く結ばれる。

次郎長は鉄舟の勧めもあり、維新を機に正業で身を立てようとする。アウトローは既成の枠にとらわれない。起業家精神で、富士山麓の開墾・油田の開発・清水港を拡充する。政府は版籍奉還、廃藩置県を断行し、近代化へ突き進む。旧土族の不満が高まる。デフレ政策で米や生糸の価格が暴落。農村にも都市にも貧民がでる。自由民権運動も大きくなる。これに武力をもつ博徒が加わる。

明治17年。危機を感じた政府は、博徒の一斉検挙を行う。次郎長も逮捕され監獄入り。懲役7年のところ、鉄舟人脈もあり、短期間で釈放。晩年は無頼の牙をぬき、割烹の亭主として穏やかに過ごす。明治26年、大食客は任侠の美学を貫き、暁の上で大往生する。74歳だった。